

串間市議会

3月議会 6月議会 9月議会 12月議会

2023年11月

No.42

だより



Kushima City Council No.42 2023.11

URL <https://www.city.kushima.lg.jp/main/council/gikai/index.html>

「議会だよりは串間市のホームページからご覧になれます」

TEL 0987-72-0691 FAX 0987-72-0932

Pick UP!

消防庁舎高台移転に向け本発掘へ



令和5年10月21日 コスモスひまわり歩こう会 (本城地区)

P 2 : 9月定例会
P 4 : 常任委員会報告
P 8 : 一般質問
P15 : 審議結果



9月定例会

令和5年第4回串間市議会(9月定例会)会期並びに審議日程

会期：令和5年9月4日(月)から令和5年9月29日(金)まで 26日間

審議日程

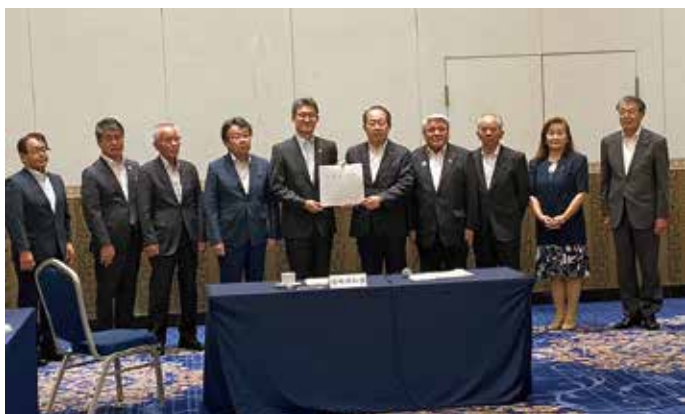
月日	曜	種別	内 容
9月4日	月	本会議	○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○報告第8号から報告第10号、認定第1号から認定第10号、議案第73号から議案第80号、諮問第1号から諮問第3号(上程、提案理由説明)
9月5日	火	休会	議案熟読 *一般質問通告締切 午後1時30分 発言順位抽選 午後2時から
9月6日	水	休会	議案熟読
9月7日	木	休会	議案熟読
9月8日	金	休会	議案熟読
9月9日	土	休会	
9月10日	日	休会	
9月11日	月	休会	議案熟読
9月12日	火	休会	議案熟読
9月13日	水	休会	議案熟読
9月14日	木	休会	議案熟読
9月15日	金	休会	議案熟読
9月16日	土	休会	
9月17日	日	休会	
9月18日	月	休会	
9月19日	火	本会議	○市政総体に対する一般質問
9月20日	水	本会議	○市政総体に対する一般質問
9月21日	木	本会議	○市政総体に対する一般質問 *議案質疑通告締切 午後5時
9月22日	金	本会議	○市政総体に対する一般質問 ○日程追加 議案第81号(上程、提案理由説明)
9月23日	土	休会	
9月24日	日	休会	
9月25日	月	本会議	○認定第1号から認定第10号(質疑、決算審査特別委員会設置、同付託) ○報告第8号から報告第10号、議案第73号から議案第81号、諮問第1号から諮問第3号 【質疑(報告第8号から報告第10号終了)、委員会付託(議案第80号、諮問第1号から諮問第3号省略)】
9月26日	火	委員会	付託案件の審査
9月27日	水	委員会	付託案件の審査
9月28日	木	委員会	付託案件の審査
9月29日	金	委員会	付託案件の審査
		本会議 午後1時	○議案第73号から議案第79号、議案第81号(委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決) ○議案第80号、諮問第1号から諮問第3号(討論、採決) ○日程追加 議員提出議案第1号(上程、提案理由説明、質疑、委員会付託省略、討論、採決)

正副議長活動報告

議長（副議長）は、議会を代表して、式典や会議に出席するなど様々な活動を行っています。その活動内容の一部をご紹介します。



令和5年7月20日
宮崎県市議会議長会臨時総会
宮崎県議会議員への要望及び意見交換会
(宮崎市)



令和5年7月28日
宮崎県市議会議長会臨時総会
宮崎県知事への要望及び意見交換会
(宮崎市)



令和5年7月31日
防衛省全国情報施設協議会総会
(東京都)

全国から会員36議会中25議会の会員が参議院議員会館に集まって総会が開催され、役員改選において会長に就任しました。



令和5年8月24日
航空自衛隊春日基地司令及び
西部航空方面隊司令官への表敬訪問
(福岡県春日市)

航空自衛隊西部航空警戒管制団司令兼春日基地司令 田崎剛広空将補、西部航空方面隊司令官 稲月秀正空将への表敬訪問を行いました。

常任委員会 特別委員会

活動レポート

常任委員会は、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることについて調査研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。

Activity Report

総務常任委員会

委員長 瀬尾 俊郎

3件の議案について審査を行い、うち2件を全会一致で、1件を賛成多数で可決しました。なお、審査の過程で以下のような意見が出されました。

・串間市結婚新生活支援事業

少子化対策の推進や移住定住の促進につなげることを目的に、新規に婚姻した世帯に対し、30万円を上限として住居費及び引っ越し費用の一部を支援する事業。

少子化対策は市の重要課題であることから、本事業単体で終わることなく、子育て支援や移住定住支援の部署とも連携し、更なる事業展開に取り組みべき。

・串間市消防庁舎整備事業

埋蔵文化財発掘や建設工事に伴い、市民病院代替駐車場を整備するための工事費用や建設予定地内の構造物・立木の撤去に係る補償金を措置するもの。

(賛成意見) 文化財保護法による発掘調査など新たに対応すべき課題が出てきているが、緊急

防災・減債事業債を活用できるよう、計画期間内の施設整備完了に向け、着実に事業を進めていくべき。

(反対意見) 現在の計画での施設整備は取り止め、ハザードマップを基本とした市全体の防災まちづくり計画を整備し、その中に消防庁舎の高台移転を明確に位置付けたうえで、事業推進体制を整え、建設予定地の再検討から改めて取組を進めていくべき。

・がんばるふいばと応援基金推進事業

令和5年9月までに想定を超える寄附申請のあった、がんばるふいばと応援寄附金の増加に伴い、返礼品等の経費を措置するもの。

寄附金の増加は10月からの制度変更に伴う駆け込み需要による影響が大きいと考えられ、年末に向けて例年同様に寄附金額が伸びるかは見通せない状況ではあるが、本市の貴重な財源確保につながる事業であることから、返礼品の確保や事務体制の整備に取り組みつつ、目標を達成できるよう取組を進めるべき。

文教厚生常任委員会

委員長 木代 誠一郎

5件の議案について審査を行い、うち4件を全会一致で、1件を賛成多数で可決しました。

なお、審査の過程で以下のような意見が出されました。

・感染症予防事業

予防接種で健康被害があった人に対して国が救済、補償をする健康被害救済制度に基づく予防接種健康被害救済給付金に係る費用を措置するもの。

今後そのような事例があった場合は、迅速に手続きを進めるようにすべき。

・経常経費・公園管理費（スポーツセンター）

運動公園内トイレの浄化槽ブローアの修繕費が計上されており、7月から故障しているとの説明であったが、市民が利用する場所であることから、予備費等で早急に対応すべきでなかったか。

・経常経費・小学校管理費

休校となった大平小学校を管理するための費用が計上されているが、同校に限らず休校・廃校となった施設においてはしっかりと管理するとともに、施設の有効活用も検討すべき。

・消防庁舎本発掘調査事業

消防庁舎移転においては、緊急防災・減債事業債の活用期限である令和7年度末までに事業を完了するということを前提にしたスケジュールとなっており、タイトな期間で埋蔵文化財の本

発掘調査を行うため、今回は業務委託で実施せざるを得ないという説明であった。

建設予定地は、過去の事例から本発掘調査が必要であることは想定できるはずで、費用が抑えられる市直営で実施するための時間的余裕を計画の中で確保していなかったことで、多くの費用が発生したことは、とても計画行政とは呼べず、大いに反省すべき。また、文化財担当課の職員が検討委員会の委員に選任されていないことも問題。

また、本発掘調査が必要となった時点で、当局としては議会に対して速やかに報告すべきであった一方、当初予算で試掘調査の経費が計上された3月定例会において、建設に係る今後の見通し等を指摘できなかったことは議会としても反省すべき。今後の進捗状況については、適宜報告を受け、その都度チェックしていくべき。

最後に、消防庁舎の高台移転は理解できるものであり、計画に遅延が発生することのないよう防災拠点の整備をしっかりと進めていくべき。また、本市では多くの埋蔵文化財が存在することから今後にも備え文化財専門員の育成にも注力すべき。

産業建設営任委員会

委員長 野辺 俊郎

2件の議案について審査を行い、全て全会一致で可決しました。なお、審査の過程で以下のような意見が出されました。

・国県補助金返還金（農地水産林政）

国県からの補助金を財源に行う事業については、効率的な補助金活用に取り組みべき。

・農業者年金事業

担い手減少の中で加入者を増やすことは難しい面もあるが、引き続き加入促進に努めるべき。

・農村環境改善センター玄関庇改修工事

築30年を経過していることから、今後の改修を見据えた計画策定や、更なる施設利用の促進に取り組みべき。

・作業受託組織機能強化事業

コンバインの導入により生産者の負担軽減が図られるとのことであるが、可能な限り負担を抑えるための支援充実を図るべき。

貸付については、返済がスムーズに行われるよう受益者の負担軽減に努めるべき。

・生産基盤支援対策事業

国の耕地災害復旧事業に該当しない小規模災害等が対象とのことだが、農地・農業用施設の復旧をする上でも必要な事業。今後も農地・農業用施設の維持管理の負担軽減を図るため、災害に強く、持続可能な生産基盤の支援充実にも努めるべき。

・企業立地促進事業

別事業の企業支援プロジェクトと使い分けているとのことだが、対象を制限するのではなく、雇用を増やした地元企業や小規模企業も活用できる制度に見直すべき。

また、今後も引き続き、雇用創出に向けた企業誘致に取り組むべき。

・経常経費／串間温泉いこいの里管理運営費

修繕料が計上されているが、修繕については突発的なものだけでなく、施設の老朽化に伴う維持に係るものについても定期的に行うべき。また、施設周辺の景観等の整備についても取り組むべき。

・串間市畜産素牛導入資金貸付事業

・高松キャンプ公園整備事業

キャンピングカーサイトを2

区画増設するキャンプサイト等整備工事が計上されているが、駐車場やトイレの不足が予想されることから、先を見据えた施設整備についても計画的に検討すべき。

・政策的経費／道路維持管理事業

陳情・要望、パトロールの結果によるものの中から危険箇所順に修繕等を行っているとのことだが、他にも必要箇所が多くあると思われることから、計画的かつ早急に事業に取り組むべき。

・交通安全対策事業

市民の安全のためにも当初予算で計上し、早期対策に取り組むべき。

・耕地災害復旧事業

国の災害査定を受けた後でなければ執行できない事業ではあるが、早期復旧に取り組むべき。

・令和4年度串間市水道事業会計の剰余金の処分について

今後健全な公営企業会計に取り組みべき。

令和5年度 常任委員会・議会運営委員会行政視察報告

令和5年7月から8月にかけて、各委員会が行政視察を実施しました。

◎総務常任委員会（令和5年7月10日～令和5年7月12日）



福岡県小竹町（令和5年7月11日）



福岡県久山町（令和5年7月12日）

福岡県小竹町では町立病院事業特別会計経営健全化計画の取組について、福岡県久山町では空き家活用シェアオフィスの取組について、視察研修を行いました。

◎文教厚生常任委員会（令和5年7月11日～令和5年7月14日）



滋賀県東近江市（令和5年7月12日）



兵庫県相生市（令和5年7月13日）

滋賀県東近江市では国スポ開催に向けた取組について、兵庫県相生市では子育て応援施策「11の鍵」について、視察研修を行いました。

◎産業建設常任委員会（令和5年8月1日～令和5年8月4日）



茨城県行方市 らぽっぼなめがた
ファーマーズヴィレッジ（令和5年8月2日）



千葉県成田市 成田市公設地方卸売市場
（令和5年8月3日）

茨城県行方市では行方市の農業やらぽっぼなめがたファーマーズヴィレッジの取組について、千葉県成田市では新生成田市市場について、新宿みやざき館 KONNE では串間市の物産について視察研修を行いました。

◎議会運営委員会（令和5年7月24日～令和5年7月26日）



福島県郡山市議会（令和5年7月24日）

福島県郡山市議会を訪問し、議会運営全般や議会基本条例の取組について視察研修を行いました。

行政視察を受け入れていただいた関係機関におかれましては、お忙しい中ありがとうございました。

一般質問



市議会議員が市に対して皆さんの生活にかかわる内容を質問します。

市長や行政委員会に市政の状況や将来の方針、住民生活に密接に関わる事項について質問をすることで、今串間市ではどんなことが行われているか知ることができます。



串間の未来像



せ おとしろう
瀬尾俊郎議員



動画視聴

Q 少子高齢化が進むこの頃、串間市にとって観光集客を念頭に事業が進んでいるが、観光収入等、経済効果を考えなければ、意味がないのではないか。

A 交流人口を地域経済に波及させるため、あらゆる可能性を模索しながら、誘致活動を行っていく。

Q 消防庁舎建設に係る発掘調査事業が、令和5年と6年で1億6千万ほどの予算が提案されているが、工期も迫る中、なぜ今段階なのか、初期の計画段階で取り組むべきではないか。事前調査等の怠慢ではないか、建設場所の変更等などは、考えられないか。

A 消防庁舎高台移転については、計画通り推し進めていく。

Q 地域連携組織が、各地区において推進されているが、地域連携組織は地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となり、地域の問題の解決に向けたものだと思います。

ます。以前より再三お願いしている北方支所の設置をお願いしたい。連携組織の活動拠点としても、災害時における情報の確保や収集、物資の保管、避難誘導など非常に重要な役割を担うものだと思う。南海トラフなど大規模災害が懸念される中、早急な対応をお願いしたい。

A 北方支所については、今のところ考えていない。

Q いつ災害が起きるか分からない状況の中、屋治地区の急傾斜地対策はどの様な進捗状況なのか。

A 今後の計画として、令和6年度に向けて調査を行う。

Q 郷土愛を担う串間学などが展開されている教育の場はもちろん、串間市民全体に「串間市歌」の普及は考えられないか。何か一つ市を挙げて取り組むことがあると良いと思うが。

A 今後、串間市歌を耳にする機会を増やしていくように各学校へ働きかけてまいります。

市長の政治姿勢について



いわしたゆきよし
岩下幸良議員



動画視聴

- Q** 施政方針の令和5年度に注力する柱についてのこれまでの取組と実績、今後の課題、問題点は何か。
- A** 消防庁舎の高台移転と東九州自動車道の整備、交流人口の増加、市民病院経営健全化を着実に遂行する。
- Q** 消防署移転計画について計画通り進められるのか。
- A** 令和7年度中の完成を目指していく。本掘調査は来年6月末までに現場作業を終える計画としている。
- Q** 病院の健全化計画の実施状況はどうか。
- A** 令和4年度決算においては、6536万円の黒字で資金不足比率も17.3%となり、計画通りとなっている。入院患者は2万6116人、外来は5万8070人で、前年との比較では、入院586人減、外来1569人増である。
- Q** 施政方針の進捗と見通しはどうか。
- A** 職員の生産性を向上させる働き方改革の進捗については、極力時間外勤務を行わない取組をし、改革の推進に努める。
- Q** 中学校部活の遠征支援と体育館・武道場の使用について。
- A** 県、九州、全国大会の支援については開催地に応じた補助金を交付しており、他にユニ

- フォーム・道具購入の経費の支援をしている。体育館等の使用については、公民館・旧中学校の体育館の使用は使用料を免除している。
- Q** 三大イベントの予算についての支援は。
- A** 令和6年度予算方針については、目的をもって基金を活用し、補助率の高い国、県の補助事業を利用して財源確保に努め、予算編成を行っている。イベントの内容も、関係機関や関係課と知恵を絞り、魅力ある祭になるよう努力する。
- Q** 防災について。
- A** 6地区35ヶ所の避難路の申請があり、防災対策活性化事業を活用し、整備をしている。
- Q** JRR広島駅での観光物産展について。
- A** 関係団体と開催に向け作業を進めていき、継続した取組に発展する様に努めていく。
- その他の質問**
消防庁舎関係では今回の発掘予算や発掘成果、補助金について、防災関係では地域への補助金や本部体制について、その他スポーツ合宿、国民スポーツ大会の取組状況、指定管理者、ふるさと納税について質問し、当局の答弁を貰ったところだ。

ゼロカーボンシティの取組等について



いであきと
井手明人議員



動画視聴

- Q** 市民に対する「ゼロカーボンシティ」の理解促進及び共有化と串間市のPRを兼ねてシンボルロゴマークを作成したかどうか。
- A** 脱炭素の取組を推進するうえで、市民や企業の行動変容を促すことは大変重要と考えているので、担当課に指示し進めることにする。
- Q** 串間中学校は統合して7年が経過したが、生徒の学力は上がったのか。
- A** 直近の全国学力テストの結果は全国、県平均を下回っており統合直後と変わらず横ばいである。改善策を講じて学力向上に取り組んでいく。
- Q** 不登校の児童生徒が増加傾向にあるがその対応は。
- A** 串間中学校で39人の生徒が不登校傾向にある。その内12人が適応指導教室に通級しているが出席扱いとして学校復帰に繋げている。また、タブレット端末を使ったオンライン授業も今年から出席扱いにしている。
- Q** 公共施設に設置したAEDは全体を統括する部署が必要ではないか。また、公共施設が休みの時でも使用できるように屋外設置やコンビニへの設置も検討すべきではないか。
- A** 消防本部が全体を統括することとした。屋外設置とコンビニへの設置は今後の課題として取り組んでいく。
- Q** 市木診療所の医師が今年度で定年退職になるということだが、後任の医師の確保はどうか。
- A** 後任の医師については話し合いが進んでおり、常勤の医師は確保できると考えている。
- Q** ふるさと納税の受け入れ状況と補正予算の必要はないのか。
- A** 9月後半で昨年度実績と同程度の寄付があった。補正予算が必要となるので議会最終日に提案を予定している。

サツマイモ 基腐れ病対策



かわさきちほ 川崎千穂議員



動画視聴

サツマイモ基腐れ病対策について

Q ①これまでの支援の効果と現状。

②令和5年産の国の支援について。

③酒造メーカーへの影響と対策。

④「べにひなた」の普及計画。

A ①国の指針である「持ち込まない」「増やさない」「残さない」を基本に、産地一体となり令和元年度から対策を実施。

市独自の支援をはじめ、県の事業を活用し種芋更新やドローン導入による防除の強化、抵抗性のある「べにまさり」の普及に取り組んでいる。現状は台風6号の影響で被害拡大が懸念されるが、昨年と比較し微増の状況。今後は蔓延防止の強化のため、早期の適期収穫の推進に努める。

②国の直採事業甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業を活用し、ほ場の残渣

分解資材購入、種芋等の購入、早期栽培の推進における超早の被覆資材購入、堆肥の散布支援を昨年12月に申請し、2049万8604円を生産者に交付。さとうきび増産基金事業において、被害が30%減収への対策として、土壌消毒、被覆資材等の支援を本年6月に申請、約3500万円の交付見込み。ドローン防除支援については、本年7月に申請を行っている。

③酒造メーカーへの影響については、原材料が不足し価格の高騰で調達が困難な状況である。世界情勢の影響に伴い、経営が圧迫されているが、農業部門での支援は実施していない。

④「べにひなた」は「べにまさり」より抵抗性が強く、肉質はホクホク系、甘みもあり外観も良く多収である。JA・団体と連携し、栽培の適性や市場評価、生産者の意向を確認したうえで導入に向けた対策を行う。

消防庁舎の高台移転 20億円? 被災する3385世帯はどうなる?



こだままさたけ 児玉征威議員



動画視聴

物価高騰対策について

Q 今大事なのはガソリン・電気代等物価高で苦しんでいる市民の暮らしを守ることです。

A スピード感をもって物価高騰対策に取り組んでいく。

Q 約束反故の汚染水・アルプス処理水の海洋放出はやめよ!

A 宮日社説も「不誠実な政府・東電の対応は大きな過ち、一刻も早く改めるべきだ」と言っています。

Q 状況を見守りたい。

A 10月からのインボイス導入は廃止を導入されれば業者1人当たり15万4000円の増税に、どうなっていますか?

A 把握できていない。

Q トラブル続出のマイナ保険証は廃止を医療機関の窓口で「マイナ保険証」を利用したオンライン資格確認が行えない等の事態が起きています(8月27日現在77万件)。串間市の現状はどうなっていますか?

A 串間市では確認されていない。

Q 計画行政違反の高台移転は見直せ!

A 日本の夏の平均気温が1.76度高く、過去最高を記録。日本海周辺の水温が1.6度(世界平均は0.6度)上昇した

ことよって災害が続発しています。串間市の防災対策は?

①令和2年4月作成の福島地区洪水ハザードマップは24時間雨量が888ミリを想定、中心市街地は0.5〜3メートル浸水するとしています。そのため約17億円の消防庁舎の高台移転を急いでいますが、今回、埋蔵文化財発掘調査費1億7710万円が突然提案され、議会からも「見直しを求め意見」が出ています。12日、緊急に全員協議会が開かれ消防庁舎整備基本計画の修正報告がされました。理由は何でしょうか?発掘調査費は撤回・修正されていますか?何故でしょうか?

②周辺住民から「私たちはどうなるの?」等の不安の声があがっています。被害予測と避難対策はどうなっていますか?

③昭和34年災害は?

A ①試掘が必要だから修正したもので、発掘調査費は約1億円の工事費には含まれていない。

②洪水では3385世帯で0.5メートル以上の浸水被害が想定される。事前避難の呼びかけを迅速、的確に行うなどして住民の安全確保に努める。

③昭和34年7月15日の豪雨災害では、総降水量370ミリ、床上浸水397戸、床下浸水1018戸等の被害があった。

産業成長と 安心安全のために 邁進を。



きしろうせいしろう
木代誠一郎議員



動画
視聴

Q 市長の任期も折り返しだ。物価高騰や市場価格の下落など市内農家の現状は極めて厳しい状況。市長として真に力強い稼げる一次産業を生み出す責務があるが残り2年間、市長の決意は。

A 真に魅力ある農業にしながらはならない。耕作放棄地対策、かんしよ対策にも奔走した。企業と連携し、担い手対策やAI技術にも取り組む。6次化を進めつつ、国内のみならず海外も視野に産業育成に努めたい。

Q 宮崎市子宮頸がんワクチン事業の例として、市内の中学校などで生徒・保護者への説明会を開催するなど、ワクチン接種の大切さを学ぶ機会が設けられており、周知連携が図られている。串間市も教育現場で医師を招いての説明会を実施できないか。

A 説明会開催等、関係課と連携して普及啓発に努める。今後、養護教諭部会や家庭

教育学級での開催に向けて協議中だ。

Q 消防庁舎移転予定地だが、来年6月まで遺構の発掘調査とある。もし調査が延びてしまった場合、計画上の造成工事と建設工事のスケジュールはどうなるのか。

A 仮に発掘調査が延びた場合にはタイトなスケジュールになる。そうならぬよう、本年度地権者との交渉などスムーズに行っていきたい。

Q 市民病院は令和4年度決算では6500万円の黒字。今年度から健全化計画に基づいて毎年1億円を市に返済していくとのこと。現状分析と見解は。

A 今年度の第1四半期では前年度同時期と比べ、収入の柱である入院収益が伸びており、各種経費削減もできている。計画通り返済できるよう引き続き収益確保とコスト削減に取り組んでいく。

市長の 政治姿勢について



のべしゅんろう
野辺俊郎議員



動画
視聴

Q 本市の基幹産業である農林水産業の物価高騰対策に「ふるさと納税」の寄付金を活用する気はないのか。

A 先行きが見通せない中、農業者の皆様への不安は計り知れないものがあるかと考えています。国や県への働きかけを積極的に行い、産地の維持に努めてまいります。

Q 新消防庁舎について、埋蔵文化財調査試掘10ヶ所が行われた理由、また建設予定地の変更の協力はなかったのか。

A 建設予定地エリアは埋蔵文化財包蔵地に隣接していることから試掘調査が必要となり、①大規模地震や豪雨等による影響を受けないこと、②機能を果たす一定の敷地面積を有していること、③幹線道路に面していること、などを考慮して予定地の変更については協議していません。

Q 農業を取り巻く情勢は厳しい状況で、特に燃油・資材・飼料等の物価高騰の対策はどう考えているのか。また、今後抵抗性のある品種を検討しているのか。

A 国の経済対策を活用した物価高騰対策に取り組んでおり、高騰対策以外にも農地中間管理事業を活用した農業機械・施設の導入支援、水田活用の直接支払交付金を活用した高収益作物等の生産振興な

ど、総合的に実施しながら農業の振興に努めてまいります。また、サツマイモ基腐病に抵抗性のある品種として「べにひなた」が強い抵抗性を有する青果用品種であります。今後生産者の意向等を確認したうえで導入に向けた対応を図ってまいります。

Q 東九州自動車道整備の進捗について、8月19日に日南・串間・志布志地区総決起大会が開催され、福島高校2年生の轟さんが「命をつなぐ道」と題して素晴らしい発表をされました。そこで早期開通に向けた事業推進の柱であります用地買収等、現在の進捗はどうなっているのか。

A 国土交通省によります用地調査が完了した箇所から、随時用地交渉を進めております。本年度の買収計画面積は算出されておりませんが、国から依頼のありました用地につきましましては、県と連携しながら迅速に対応しているところです。

Q 市道揚原く古大内線についてですが、大束の地域住民にとっては、地区と地区を結ぶ重要な路線であり、路面の凹凸や降雨の際は水溜まりなどが発生し、通行に支障をきたしておりますが、どうなっているのか。

A 本年度は舗装工事を実施するよう考えています。

「子育てするならくしま」の体制について！



すずきひろや
鈴木博也 議員



動画視聴

子ども・子育て支援の充実について

Q 総合的な子育て支援の充実について市長の見解はどうか。

A 今後も引き続き宮崎県市長会を通じ、地方の実態を踏まえた制度設計や必要な財源確保について要望していく。

Q 子育て支援の今後の展開や計画についてはどうか。

A こども施策に関する基本的な方針と重要事項を定めた「こども大綱」が本年12月に示される予定であり、この「こども大綱」を基に、子ども・子育て支援事業計画と子どもの貧困対策計画を包含した「こども計画」を令和6年度に策定予定としている。

Q 子どもを連れて遊べる施設等についてはどうか。

A 総合運動公園や地区公園及び広場のほか、屋内施設として「すこやかひろば」、「さくらサロン」の2か所で地域子育て支援センターを開設しており、乳幼児の親子に多数ご利用いただいている。今後においても、

利用者の意向を伺いながら可能なものには随時対応していく。

空き家バンクについて

Q 直近の空き家バンクの登録状況と空き家の件数はどうか。

A 空き家バンクの登録状況は8月末現在で10件、空き家の件数は令和4年度末現在で905戸となっている。

Q 今後、どのような対策と活用を考えているのか。

A 今年度から固定資産税納税通知書に空き家バンクに関するチラシを同封しており、空き家所有者から多くの相談が寄せられている。引き続き、空き家バンク登録物件の掘り起こしを行うとともに、一人でも多くの移住者を呼び込んでいきたいと考えている。

(その他の質問項目)

1 串間市農業の地域計画と課題について

2 串間市の国際交流について

3 市民病院の経営健全化計画について

第6次串間市長期総合計画



いまえ たけし
今江 猛 議員



動画視聴

子育ての推進状況、推進に対する問題点。

Q 子育ての推進状況につきましても、国・県制度を活用した事業はもちろんのこ

と、市独自の経済的支援策や保健師・看護師の資格を持った母子保健コーディネーターによる相談及び訪問体制の充実や出産・子育て伴走型支援による相談体制の提供を行ったことで、子育て支援の充実の指標でもある教育・保育の充足率100%を維持しているところであります。なお、保育園等を卒園した後、小学校での学習や生活になじめない子どもが増えている中、幼児教育から学校教育への円滑な移行を目指す取組「幼保小連携」について、現在、関係課と協議を進め、教育・保育の質の向上のための環境づくりに努めているところであります。

A 本市におきましては「子育て世代に選ばれる環境づくり」として、合計特殊出生率を令和元年度の実績値1・96から令和7年度の間目標値2・01に引き上げる目標を設定しております。目標達成にあたっては、本市における出生数が減少傾向にある中、先行指標となる婚姻数の減少も今後の少子化に大きく影響するものと考えております。未婚化・晩婚化の背景には、経済的な不安や、出会いの機会の減少、仕事と子育ての両立の難しさなど様々な要因が複雑に絡み合っているものと考えております。このような要因からまずは若者の経済的負担を軽減するため、今議会において「串間市結婚新生活支援事業」を提案させていただいております。本事業を含め、今後

も実効性のある少子化対策を総合的に推進してまいります。

Q 合計特殊出生率の目標について。

串間の活性化の取組



きくながひろちか 菊永宏親議員



動画視聴

Q 現在の市民生活をどの様に受け止め、今後の経済の活性化に取り組む考え方は。

A 人口減少の進行、地域経済の衰退等、本市の最重要課題があり、移住支援事業、各ライフステージに対する支援、若者のUターン促進支援、地場産業の振興など地域活力の創出に向けた取組に注力する。

Q 本市の畑地・水田地帯の今後の農業振興対策の取組について。

A 畑地帯については、かんしよに代わる作物として、しようがやニンジン等の推進に取り組んでいるが、今後ともかんしよの抵抗性品種の普及により産地維持強化に努める。また、水田地帯については、早期水稲面積が減少する中、加工用米やWCS用稲等の栽培が増加傾向にあり、水田活用直接支払交付金の活用による水田面積の維持に努める。

Q 耕作放棄地の現状と今後の農地確保について。(農業委員会会長)

A 本市の耕作放棄地の現状は、農業者の減少や農地条件の解消が進まず、抜本的な改良が不可欠であり、これらの解消に取り組むべきである。

また、本年度より地域計画の策定に向けた取組として、農業委員が積極的に参加し、将来の農地利用の姿を明確化する活動に取り組む。

Q 相続義務化の内容と過料の適用について。

A 不動産を取得した相続人に對し、取得を知った日から3年以内に相続登記を申請することを義務付け、正当な理由なく申請を怠った場合は罰則で10万円以下の過料が適用される。
※2代以前の相続登記の簡略化を国に働きかける事を行政に要望する。

その他

- ・有害鳥獣捕獲班の支援強化について
- ・市道管理対策の予算の充実に ついて
- ・消防庁舎本発掘調査について

9月議会・討論

9月議会での反対討論

児玉 征威

用地取得費の2.4倍、計画無視の埋文発掘調査費1億7700万円は見直せ!

■1つは、「計画行政違反」です

令和2年4月に作成した「洪水ハザードマップ」は、防災対策の基本です。令和3年3月に議会が議決した総合計画では、審議会で「高台移転」を求める声が強く出されたのに受け入れられず「消防庁舎の高台移転は今後の課題」でした。令和3年11月作成の「防災マップ」で24時間雨量が88ミリの場合、現消防庁舎が「0.5〜3メートル浸水する」ことを理由に高台移転を決めました。串間市の最上位計画である総合計画「総合計画の変更は議会の議決が必要」となっているのに「変更せず」に消防庁舎の高台移転を進めるのは「計画行政違反」です。

高台移転は緊急防災債が適用できることを理由に手順を無視していることに問題の原因があります。

■2つは、「洪水マップ」、なぜ雨量が違っ?

「洪水マップ」では、福島地区888ミリ、本城地区944.5ミリ、市木地区

953ミリと串間市内で雨量が違うのは何故か?昭和34年7月福島災害が370ミリ、令和2年7月人吉災害が463.5ミリ、国内の最高雨量は令和2年7月日田市の497ミリです。日本での最高雨量の2倍近い888ミリの根拠は何か?についてまともな答弁はできませんでした。

■3つは、修正しても遡及できないのでは?

令和5年3月作成の「基本計画」では、「建設場所は埋蔵文化財の包蔵地に指定されていけません」となっています。が、9月議会に、本掘調査費1億6346万円が提案されたことに8月29日の議会運営委員会、30日の全員協議会で多くの議員から「基本計画と予算は矛盾している」と修正を求め、声が出され、市長は「9月7日に「包蔵地に指定されなければならない」と修正しました。令和4年9月1日の第1回検討委員会で「埋文調査は令和7年度までの建設完了のスケジュールに逆算して進められています」と議事録に記載されています。基本計画は、令和5年2月2日の調整会議と、令和5年2月2日の調整会議と、埋蔵文化財包蔵地に指定され

てはいけません」と地図に記載してあります。「議運・全協でも修正はできない」と答弁して完了しました。埋文試掘は7月に完了しています。修正した理由も説明されていません。修正しても「遡及」はできない

修正はできない

修正はできない

修正はできない

修正はできない

修正はできない

9月議会での賛成討論

岩下 幸良

はです。問題は緊急防災・減債事業債の令和7年度までの期限を最優先させ、ルールに基づく行政執行が行われていないこととです。

一定の理解をしてきたつもりであり、しかしながら、この基本計画を説明する全員協議会において、遺跡発掘のことが取り上げられたときも、本掘調査が必要となることについて、具体的な説明はありませんでした。また、本年度の試掘調査費用についても、この全員協議会等で具体的な説明がなかったところであります。突如、この9月議会において、債務負担行為を含め1億6346万円の予算が提案されました。ましてや国等からの補助金は一切なく、市の一般財源での予算となっており、これは市民の大事な税金であります。また、これまで病院等の建設等における遺跡発掘については、教育委員会において実施しており、今回委託事業として実施することの説明がありましたが、このことが、1億6346万円という予算に膨れ上がった要因だと思っております。

「構想」では「病院西側、黒潮ロード沿い」と地図に建設場所が示されてきました。埋蔵文化財の調査が必要ではとの質問に「必要ない」と答弁してきます。なぜ、埋文調査が必要なのか道なきに変更したのか？市民からも疑問の声が寄せられています。市民病院等の発掘調査費は3448万2000円、消防庁舎は2メートル掘削2200㎡、1メートル掘削850㎡に1億6346万円と多額です。用地取得費6737万円の2.4倍になります。態勢もなく用地買収も完了していないため市民病院代替駐車場等1364万円も提案されています。総工事費は20億円近くになります。場所の変更を含め再検討すべきです。

教育委員会の体制や実施期間が限られており、一定の理解はありますが、具体的な説明は一度もありませんでした。やはり、このことも我々議員を含め、市民に広く説明するべきであります。

私、議案第73号について、反対の立場で討論に参加します。令和5年度申間市一般会計補正予算、社会教育総務費において、消防庁舎本発掘調査事業として7238万円、また、令和6年度債務負担行為補正として9108万円が計上されておりますが、消防本部の高台移転については、市消防庁舎整備基本計画に示してありますことと、

私たち議員は、市の重要な計画や予算について、市民に広く説明する使命、責任があります。今回のこのような進め方だけでなく、到底市民に理解を求めることはできません。

私は、議案第73号令和5年度申間市一般会計補正予算、社会教育総務費において、消防庁舎本発掘調査事業として7238万円、また、令和6年度債務負担行為補正として9108万円が計上されておりますが、消防本部の高台移転については、市消防庁舎整備基本計画に示してありますことと、

また、本発掘調査を行うことで郷土の歴史を明らかにし、これを適正に記録・保存するとともに、将来の教育に活用すること、郷土の歴史を正しく伝承していくことは行政の役割でもあると思っております。

野辺 俊郎

私は、議案第73号令和5年度申間市一般会計補正予算、社会教育総務費において、消防庁舎本発掘調査事業として7238万円、また、令和6年度債務負担行為補正として9108万円が計上されておりますが、消防本部の高台移転については、市消防庁舎整備基本計画に示してありますことと、

指定された経緯があります。当初の計画では候補地はその指定外であり、発掘調査はしなくてもよいとの判断であったが、包蔵地に隣接しているため当初予算に試掘の予算が計上され、試掘の結果、遺物が出土されたので本発掘調査をしなければならぬ事態となったところでもあります。

また、この事業には多額の予算が計上されております。行政は計画的な行政運営をしなければならぬのに、なぜ、それができなかつたのか甚だ疑問に思うところがあります。

また、本発掘調査を行うこととで郷土の歴史を明らかにし、これを適正に記録・保存するとともに、将来の教育に活用すること、郷土の歴史を正しく伝承していくことは行政の役割でもあると思っております。

また、この事業には多額の予算が計上されております。行政は計画的な行政運営をしなければならぬのに、なぜ、それができなかつたのか甚だ疑問に思うところがあります。

9月定例会では1件の意見書案を可決し、国に提出しました。

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

我が国の森林は国土の7割を占め、地球温暖化防止や国土保全、水源涵養等の公益的機能を有しており、国民全体に様々な恩恵をもたらしている。これらの機能を十全に果たすべく、間伐などの森林整備を着実に実施していくための財源として令和元年度に森林環境譲与税が創設された。

現在、地方公共団体では、森林経営管理制度等に基づき、管理が行き届いていない森林の整備のため、森林所有者への意向調査等に取り組んでいるが、所有者不明や境界未確定森林の存在、担い手の不足等により、想定以上のコストがかかっているところである。

また、近年多発する豪雨によって起こる土砂崩れや洪水、浸水といった下流部の都市住民にも被害が及ぶ災害から国民を守るためには、様々な課題に対応した森林管理を進めていくことが必須となっている。

市内の総面積の77.5%を林野が占め、そのうち私有林人工林の面積が7792haと、多くの森林を抱える我が串間市では、こうした山間部における様々な課題に早急に対応し、森林整備や人材育成・担い手確保といった取組を今後本格化させていくには、今の譲与基準のままでは森林整備の費用に不足が見込まれ、さらなる財源が必要となっている。

以上のことから、下記の実現を強く要請する。

記

森林の多い市町村が必要な森林整備をより一層推進することができるよう、譲与基準を見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月29日

宮崎県串間市議会

令和5年第4回串間市議会（9月定例会） 議案等の審議結果及び各議員評決

			議決結果	議決日	事件種別	事件内容	鈴木博也	野辺俊郎	木代誠一郎	菊永宏親	坂中喜博	川崎千穂	今江猛	瀬尾俊郎	井手明人	岩下幸良	児玉征威	堀透	福留成人	
市長提出議案	報告第8号	令和4年度串間市健全化判断比率の報告について	終了	9月25日	専決報告	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告第9号	令和4年度串間市資金不足比率の報告について	終了	9月25日	専決報告	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告第10号	串間市民病院経営健全化計画の実施状況の報告について	終了	9月25日	専決報告	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認定第1号	令和4年度串間市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第2号	令和4年度串間市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第3号	令和4年度串間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第4号	令和4年度串間市病院事業会計決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第5号	令和4年度串間市水道事業会計決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第6号	令和4年度串間市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第7号	令和4年度串間市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第8号	令和4年度串間市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第9号	令和4年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第10号	令和4年度串間市市木診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	9月25日	市長提出	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第73号	令和5年度串間市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	9月29日	市長提出	予算	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-
	議案第74号	令和5年度串間市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	原案可決	9月29日	市長提出	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第75号	令和5年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	原案可決	9月29日	市長提出	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第76号	串間市「財政事情」の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	9月29日	市長提出	条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第77号	串間市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決	9月29日	市長提出	条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第78号	串間市自転車の放置防止に関する条例	原案可決	9月29日	市長提出	条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第79号	令和4年度串間市水道事業会計の剰余金の処分について	原案可決	9月29日	市長提出	その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第80号	教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	9月29日	市長提出	その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第81号	令和5年度串間市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	9月29日	市長提出	予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なし	9月29日	市長提出	その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なし	9月29日	市長提出	その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なし	9月29日	市長提出	その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議員提出議案第1号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書	原案可決	9月29日	議員提出	意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

○賛成 ×反対 △棄権 -欠席等 -採決なし ※議長は採決に加わらないので「-」で表示。可否同数のときは、議長の決するところによる。

8 8 8 - 8 7 9 0

料金受取人払郵便



差出有効期間
令和7年1月
31日まで

(切手不要)

宮崎県串間市大字西方5550

串間市役所議会事務局 行



市議会に対するご意見をお聞かせください。

※ いただいたご意見については、今後の参考とさせていただくほか、議会だよりの紙面でご紹介することがございます。
また、紙面での紹介にあたり、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。ご了承ください。

▲点線に沿ってお切りください。 ※お手数ですが投函いただく際は、必ず**不要になったはがき**など厚紙に全面密着で貼り付けてください。

編集後記

編集委員 川崎 千穂

コロナ感染症・インフルエンザの流行が続く中、物価高騰により市民の皆様には厳しい生活が続いております。

そんな中、4年ぶりに都井岬火まつりが開催され、これまでにない多くの方の参加がありました。

残念ながら花火大会は雨のため中止となりましたが、市民秋まつりは多くの方の参加でにぎわったことでしょう。

いま世界情勢は、人を人と思わない残酷な戦闘が繰り返されております。

心が張り裂けそうになります。

一刻も早い終息を願わずにはおられません。

何もないこと、平和な日常がどれほど尊いか考えさせられます。

市民の皆様のご健勝をお祈りし、串間市議会だよりが少しでも楽しく読んでいただけるよう編集委員会として取り組んでまいります。

議会傍聴のご案内

串間市議会では、3月、6月、9月、12月の定例会や臨時会で、市民の皆様の生活に関係の深い議案などを審議しています。

「市民に信頼され、役立つ議会づくり」を基本理念に「串間市議会基本条例」を制定し、市民の声を市政に反映すべく議会運営と行政が一体となって取り組んでおります。

一人でも多くの市民の皆様へ、開かれた議会をご理解いただく上でも、ぜひ、議会の様子を見てみませんか。

また、串間市議会の様子については、パソコンやスマートフォン、タブレットで議会中継の様子がご覧になれるほか、過去の映像についても視聴可能です。

串間市議会

検索



傍聴に関するお問い合わせがありましたら、議会事務局(☎72-0691)までご連絡ください。

なお、次回12月定例会は、令和5年11月27日(月)開会予定です。正式な開会日や会期日程等については、決まり次第、議会のウェブサイト等でお知らせいたします。